

審議会等の会議結果報告

1 会議名	令和6年度第1回津市文化振興基金運営委員会
2 開催日時	令和6年12月25日(水) 午後2時から午後3時30分まで
3 開催場所	津リージョンプラザ 2階第1会議室
4 出席した者の氏名	(津市文化振興審議会委員) 加藤久、綺堂杏美、小林厚子、田邊三郎、堀内謙一郎、 松尾悦子、松橋昌子、村田浩二、龍泉寺由佳、若林一博 (事務局) スポーツ文化振興部文化振興課長 林桂子、文化振興課 調整・事業担当主幹(兼)文化ホール施設担当主幹 中野 貴久、文化振興課事業担当副主幹 山岡亜由美、文化振 興課主査 林正純
5 内容	1 あいさつ 2 委員長、副委員長の選出について 3 (1) 津市文化振興基金の報告について (2) 令和7年度津市文化振興基金の新たな活用 計画(案)について 4 その他
6 公開又は非公開	公開
7 傍聴者の数	0人
8 担当	津市スポーツ文化振興部文化振興課 電話番号 059-229-3250 E-mail 229-3250@city.tsu.lg.jp

・議事の内容 下記のとおり

事務局 中野	お待たせいたしました。定刻となりましたので、ただ今から、令和6年度第1回津市文化振興基金運営委員会を開催いたします。 文化振興課事業担当の中野と申します。 どうぞよろしくお願いいたします。 会議の開催にあたり、文化振興課長の林よりご挨拶申し上げます。
林課長	【あいさつ】
事務局 中野	続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。 文化振興課事業担当の山岡でございます。 同じく、林でございます。 ここから、着座で失礼いたします。 本日の会議につきましては、お手元に配布済みの事項書に基づき、基金の状況についての報告の後、令和7年度基金の新たな活用計画(案)について、御審議いただく予定となっております。 よろしくお願いいたします。 なお、村田委員につきましては、出欠の確認連絡を取っております。

堀内委員長	では、本日の資料の確認をさせていただきます。 まず、「事項書」、「席次表」、それから冊子となっております「参考資料集」、それからA4 1枚の「津市文化振興基金 活用計画(案)」「令和7年度 文化振興基金活用事業(郷土アーティスト発信事業)」、以上でございます。おそろいでしょうか。 それでは、事項書に従い、議事を進めてまいります。 まず、事項書2「委員長、副委員長の選出について」を議題とします。津市文化振興基金運営委員会設置要綱の規定により、委員会には「委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により定める。」となっております。委員長、副委員長の選出について、御意見などございますでしょうか。 【事務局一任との声あり】 事務局一任のお声をいただきましたので、事務局から御提案をさせていただきますと存じます。それでは、事務局案としまして、前任期に引き続き、堀内委員に委員長を、松橋委員に副委員長をお願いしたいと存じますがいかがでしょうか。 【異議なしとの声あり】 ありがとうございます。皆さまに御承認いただきましたので、委員長には堀内委員に、また、副委員長には松橋委員をお願いしたいと存じます。堀内委員、松橋副委員長につきましては、席の移動をお願いします。 【堀内委員、松橋委員一席へ移動】 津市文化振興基金運営委員会設置要綱の規定に基づき、堀内委員長に議事進行をお願いいたします。 まず初めに、本日の委員会出席者数は、全委員10名中、現在9名で、出席委員が半数以上に達していますので、津市文化振興基金運営委員会設置要綱の規定により会議が成立していることを御報告いたします。また、本日の会議は、津市情報公開条例第23条に規定に基づき、公開としておりますのでよろしくお願いします。 それでは事項書に沿って会議を進めてまいります。委員の皆様には、円滑な議事の進行につきまして、御協力いただきますようお願い申し上げます。まず、3議事「(1) 津市文化振興基金の報告について」の「ア 津市文化振興基金の財源の推移について」及び「イ 津市文化振興基金事業(助成事業)実績について」、事務局から説明をお願いします。
事務局 林	文化振興課事業担当の林でございます。「ア 津市文化振興基金の財源の推移について」ご説明いたします。参考資料集の5ページにあります資料4をご覧ください。 津市文化振興基金は、平成元年度に市拠出金、寄付金併せて1億円に達したため、平成元年度より文化振興基金活用事業を始めました。 元金について、(1)、当初の基金総額は、①1億5万4,972円で、その後、(2)の部分ですが、平成6年度に②1億円の追加積立を行い、(3)の寄付金として、平成元年から令和5年度までの累計としまして、縦長の表の「計」の欄、189件、3,324万8,287円となっています。これにより、令和5年度末の元金総額は、④2億3,330万3,259円となりました。(3)の寄付金につきましては、令和5年度の実績としまして、歌舞伎俳優の坂東彌光氏とその御母堂、津音頭保存会から3件12万円をご寄附いただきました。ま

堀内委員長	た、市内公共施設に設置してある募金箱に集まった金額が3万0,911円で、合計で15万0,911円となりました。続きまして、次のページ、基金の運営に係る利子、申請による補助及び自主事業による取崩状況です。令和5年度の基金の運用につきましては、運用計画に基づき、定期預金と千葉県公募公債を平成27年10月から1億円、神奈川県公募公債を平成30年1月から5千万円の基金を運用しており、令和5年度の利子としまして、148万0,464円となりました。次に令和5年度の基金の取り崩しの実績は、補助事業が7件、122万8,000円で、自主事業については令和元年度の事業をもって終了いたしましたことから、取崩はございません。令和5年度末時点の文化振興基金総額は（表下段の太文字部分ですが）、前ページの④元金総額と⑥利子の計から補助事業と自主事業の総取崩額⑦を引いたものとしまして2億1,546万2,800円となります。 続きまして、「イ 津市文化振興基金事業（助成事業）の実績について」ご説明いたします。参考資料集の7ページにあります資料5をご覧ください。7つの事業に対する助成額の合計が令和5年度助成額122万8,000円となります。なお、各事業実績の詳細につきましては、恐れ入りますが、お手すきの際に「事業成果等」の欄をご確認ください。 続きまして、10ページ、11ページをご覧ください。ここからご紹介します5つの事業は、本年3月の、令和5年度第2回津市文化振興基金運営員会でご採択いただいた事業で令和6年度助成事業と11月30日時点の実績となります。1番目の創立55周年記念Ⅱ 津児童合唱団第56回定期演奏会事業につきましては、事業費99万8,926円に対して、助成額は20万円です。2番目の劇団カラズ旗揚げ25周年記念公演事業につきましては、事業費294,212円に対して、助成額は7万3,000円です。当初は10万3,000円で交付決定を行っていましたが、団員様の経費削減の努力により、印刷製本費等の縮減が見込まれたため、事業計画変更申請があり、7万3,000円で確定となりました。以上、2事業の助成実績額の合計は27万3,000円となります。 続いて次の11ページをご覧ください。令和6年度11月30日現在助成決定済みで、実績は未確定の事業となります。1番目の三重文学協会設立30周年記念講演会事業は、事業費予算60万円、助成見込額は19万1,000円となります。2番目の企画展「藩校有造館と齋藤拙堂」事業は、事業費予算165万2,464円、助成見込額は20万円となり、2事業の助成見込額の合計は391,000円でございます。令和6年度中に助成決定予定の事業で、藤田明さんの『地方からの映画史-津で見た80年-』刊行事業については、今後、20万円の助成決定を予定しています。令和6年度の当初予算と11月30日時点の助成実績及び助成見込額は、当初予算140万円に対して、実績の合計が273,000円、現予算額は112万7,000円です。 また、助成決定済みの2事業と、今後助成決定予定の1事業に対する助成見込額は59万1,000円で、予算見込残額は53万6,000円となります。事業実績についての説明は以上でございます。 ただいま、事務局から津市文化振興基金について説明がありましたが、御質問などありましたら、お願いします。 （村田委員参加）
-------	---

綺堂委員	R6 劇団カラーズへの助成額について、交付決定額 103,000 円から 73,000 円への減額理由を教えてください。
事務局 林 加藤委員	主に印刷製本費と客演への報償費減となります。 R5 アンサンブルブーケ助成額について、当初から 28,000 円でしょうか。
事務局 林 松尾委員	当初採択時点から助成額は 28,000 円でした。事業費の中で支払い済の分があったことが 28,000 円となった主な要因となります。 8 ページの事業について、入場料収入が増えれば申請額にも影響があるかと思いますがどうでしょうか？
事務局 林	予算と実績の差額については今すぐには分かりかねますが、いずれの事業費につきましても高額になっております。助成額は助成対象経費の 1/3、上限額 20 万円となっていることを鑑みると、多少入場料収入が増えても助成額には影響はないと考えられます。変更申請に至までの変更にはなっておりません。歳出よりも歳入が多くなった場合は変更申請いただくこととしております。
堀内委員長	他にありませんか。ないようであれば、続きまして、3 議事「(2) 令和 7 年度津市文化振興基金の新たな活用計画（案）について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。
林課長	文化振興基金活用計画（案）をご確認ください。最初に委員長にお断り申し上げます。今回、議事として挙げさせていただきましたが、これからお話しする内容は市として方針が確定していないものになりますので、この場で採決いただくものではありません。市の考えをお伝えしご意見を伺うものになりますのでご了承ください。 R6 新たな試みとして郷土アーティスト発信事業を開催する予定です。基金原資のうち、1.5 億は公共債となり、利息年約 140 万を原資として公募型の補助を行っております。 残りの定期預金で運用しております約 6500 万は流動性がありますので、R6 から一部取崩し郷土アーティスト発信事業を開催いたします。今後もなんらかの形で継続していきたいと考えております。今後、流動性のある原資を使い文化事業を行って市民の皆様に還元できるよう活用していきたいと考えております。 例えば久居アルスプラザ指定管理事業の地域文化活用事業を開始する予定です。市内 10 ホールを利用して各文化協会と連携して文化事業を行っていく動きがございます。 これは、国の地域創生施策を受け、文化振興を通じて地域活性化を図っていききたいと考えていかななくてはいけないため、そういった類の原資としての活用も考えています。もう 1 つは津城跡の活用が庁内横断で検討されており、例えば VR 事業など歴史文化に関わる事業の財源として活用することも考えております。 まだ何も決まっているものではありませんが、今後 6500 万円を市民の皆様に享受いただける事業の原資として活用していきたいと考えております。 この場をお借りして皆様から市民感覚としてご意見等伺いたいと考えております。
堀内委員長	まだまだ決まっていることではございません。ご意見ありましたらお願いいたします。

綺堂委員	個人的には VR 事業はとても面白いと思います。ただし、VR 事業自体は来る動機にはなにくくて、コンテンツが魅力的なものになるといいかと思います。例えばポケモンや武将のようなああいったものがないとなかなか来てもらえないと思います。
林課長	市役所の横にある津城跡の整備や活用など、庁内横断的に検討をしています。一時期ポケモンスポットとなり、人がたくさん来ていました。観光資源としての面もありますが、一番は市民の方に歴史文化に興味を持っていただく、市民に対してのアピールのためヴァーチャルで体験いただくのはいかがでしょうかという案です。ただ、今いただいたご意見はもっともですので参考にしたいと歩もいます。
加藤委員	郷土アーティスト発信事業について、津市文化奨励賞・功労賞の方以外にもたくさんいると思うのでそういった方も考えてはいかがでしょうか？
林課長	今回イメージしたのは 20 年前に行った郷土シリーズ事業でして、その時と同じスキームでトライアルを行いました。今後、事業を考えていく上で、人材を発掘していきたいですし、そういった方がみえたら是非文化奨励賞等に推薦お願いいたします。
堀内委員長	現実のところ、20 年前もそうでしたけどキップ売りはなかなか大変ですね。せつかくですので順番に。
小林委員	大河ドラマで言われていますけど、高虎さんについてもっと発信いただけたら歴史に興味を持っていただけるのではないのでしょうか。
田邊委員	団体が高齢化して活動が低迷し事業縮小が続いている。カンフル剤になればいいと思います。基金事業審査のプレゼン説明について、物々しいのですが続きますでしょうか？
林課長	書類だけでは分からないので、プレゼンしていただいてはいかがでしょうか？というご意見があり始まったと聞いています。
田邊委員	結構時間取りますし、来ていただく必要もあり、準備も必要。それで 200 万ならいいのですが、20 万ですからね。もうちょっと簡略化されてはどうでしょう。あれだけ物々しいと応募者が減るのではないかと思います。
林課長	選考方法につきましても委員会の中で協議、ご提案いただけたらと思います。
堀内委員長	来なければ補助されない訳ではありません。ご都合悪ければ書類だけでも審査いたします。
松尾委員	郷土アーティスト発信事業のアーティストはどのような人達をいうのでしょうか。今回の場合は音楽家ですが、あらゆる方が対象になると思うのですが、具体的には？
林課長	ホールで実施すると考えると音楽家等が中心になりますが、実際の受賞者には写真家の松原さんや浅田さん、美術関係者、まちづくり、文芸などいます。今後どのような方をお願いするかはどのように事業を組み立てていくかという事になります。今回、第 1 回という事でホールを活用するという主旨もありましたので、こういった事業となったのですが、今後ご提案ご意見頂きましたらと思います。
村田委員	今回初めて参加させていただくのですが、基金事業補助について、祭り関係、太鼓などは周年事業としてありますが、対象ではないでしょうか？
事務局 林	参考資料集の 8 ページ 4 をご覧ください。R5 の実績となりますが、津高虎太鼓 50 周年演奏会でご活用いただいた実績がございます。補助金対象条件として、定期演奏会などは周年事業などのアニバーサリー

村田委員	な事業を対象としていることからご利用いただく形になりました。
林課長	商工会議所の中で観光文化など色々三重大学の学生さんの意見を取り入れながら進めているのですが、そういった機会があると事業に参画いただけるのかなというのと、VR について三重大学で研究されている方がいると聞いております。VR の当てはありますでしょうか？
龍泉寺委員	情報収集している段階なのですが、事業者さんがおりますのでそういったかたにコンタクトを取ったり、導入例を参考にしたりしています。学生さんの事業についても補助対象となればご応募いただけたらと思います。この事業補助は団体支援ではありませんので、毎年出すものではありません。また、市や県の他の補助を受けているものは対象にはなりませんので祭りであるとそれに該当するかもしれません。
事務局 中野	郷土アーティスト発信事業について、実行委員会の実態はどういったものですか。
龍泉寺委員 事務局 中野	主に地元の普段文化活動されている方になります。今回初めてこういった事業を行うことからノウハウが足りないため、こういった事業詳しい方にお集まりいただきました。
若林委員	この事業自体が津市文化振興基金活用事業ということでしょうか。
事務局 中野	そうなります。令和 6 年度については 200 万、令和 7 年度は演出家の鳴海康平さんにサンヒルズ安濃、白山しらさぎホールで演劇をしていただく予定で総事業費 220 万 1 千円を考えています。
事務局 中野	アストで文化発信しているのですが、見に来る人をいかに集めるか、いかに市民の方に周知するかが課題と思います。広報についてはどのようにしていますか。
若林委員	今回、委員さんに色々意見をお伺いしながら進めているのですが、まずチラシ 10000 枚を折込や文化施設などに配架しています。他に FM 三重でスポット CM、つうびーすでイベント告知などを行っています。ただなかなか難しい部分がありまして、委員さんの手売りに頼るところはございます。できるだけたくさんの方にきていただきたいと考えております。皆さんにも招待券をご用意いたしましたので、ぜひお越しただけたらと思います。
林課長	最近は若い人の参画が少ないですね。いかに若い方にきていただくのが難しいですね。
若林委員	補足なのですが、今回出演者の出身中学校でコンサートを実施しており、12/6 橋北中学校、12/20 西郊中学校でコンサートを行い、年明け 1/10 に西橋内中学校でも行う予定です。直接販売にはつながらないのですが、生の演奏をきいていただくのは貴重な体験ですし、会場も大変盛り上がりました。周知と共に若い世代へのアピールも工夫していきたいと考えています。
松橋副委員長	津出身のマリンバ奏者の浅岡栄子さん、西橋内中学校出身で同級生がチケットを販売した事例があります。
	チケットを売る事は非常に難しいです。今回の方々はとても素晴らしい方々で、売れる方だと思うのですが、これからですね。この次にこういった方が来られるか、といったところが売上に関わってくると思います。若い人などは自分で売りにくいといった方もいますし、宣伝したからといってなかなか売れるものではなくて、本人がどれだけ売るかにかかってくるものだと思います。学校に行くことはとってもいいと思いますし、若い人にクラシックを理解いただくいい機会で見に来ていただけるととても良いと思いますし、続けることが大切です。よろしく願いいたします。予算は毎年 200 万ほどですか？

事務局 中野	事業によって変わってきますので、一律 200 万ということはありません。
松橋副委員長	鳴海さんということは次は演出があるということですよ。
事務局 中野	演劇をしていただくことで考えています。
松橋副委員長	よかったという人が増えて、いつも行きたいと思う人がでてきたらいいと思います。続けることが大事ですね。
田邊委員	R6 は兼重さんたち、R7 は鳴海さん、その次ですね。文化奨励賞受賞者のようなアーティストを呼ぶのは集客があるのですが、陶芸、俳句など色々な分野で活躍している方もおり、ホールで絵を見せることはなかなかできないので、偏りがあるように思います。講演などで魅力を感じるものとか、そういったものは高齢者にとっていいですね。
松橋副委員長	この企画はどの方がされるのですか。これからは？企画委員のような方がみえるのですか。
事務局 中野	R6 でいきますと、兼重先生に逐一相談して色々ご意見をいただきながら進めていきました。今のところは企画に見合った実行委員を集め、任期を 3 月末として進めており、次の企画には新しい委員を招集していくことで考えておりますが、今後ご意見を伺いながら考えていきたいと思っています。
松橋副委員長	色々な分野の方々に集まっていただき企画を考えることもよいかと思います。
堀内委員長	他に如何でしょうか。来てくれるようでしたら子どもたちを招待してもいいですね。招待はなかなか来てもらえないことが多く、招待無料だと無料のように見えてしまいますね。難しいところですね。
堀内委員長	他にありませんか。ないようであれば最後に事項書 「3 その他について」、事務局から、連絡事項などありましたらお願いします。
事務局 中野	令和 7 年度の津市文化振興基金活用事業補助金の募集になります。令和 7 年度につきましても、今年度同様、1 事業にあたり事業費の 1/3、最大 20 万円の事業補助を予定しており、具体的には、令和 7 年 1 月 31 日（金）から 2 月 28 日（金）まで募集を行い、次回の津市文化振興基金運営委員会で審査する予定です。次回日程につきましては、3 月末を考えておりますが、後日改めて調整させていただきます。皆様、ご出席のほどよろしくお願いいたします。
堀内委員長	ただいま、事務局から、令和 7 年度津市文化振興基金活用事業補助金の募集と次回の運営委員会の日程等について、説明がありました。この件について、御質問等はございますか。他に御質問が無いようであれば、これを持ちして、本日の委員会は終了します。委員の皆様には、長時間にわたり、御審議いただきありがとうございました。